

## わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(3月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町「子ども読書の街」づくり推進委員会委員長



### 『きつねのでんわボックス』

戸田和代 作/たかすかずみ 絵/金の星社 刊

絵本読み聞かせ：幼児から 児童書：小学校低学年から



思わず涙ぐむ感動的な場面が心にいつまでも残る一冊の絵本です。必読です。

親の深い愛情の元で育った子ぎつねを病気で亡くしてしまい人間の男の子と重ね合わせる事で、役に立とうとする姿が素晴らしいと思います。

そして、岩手県大槌町の海岸を見下ろす丘にある“風の電話”を思い出しました。電話線が繋がっていない電話で亡き人に思を伝えたり、自分の気持ちの想いを伝えます。

“きつねのでんわボックス”と重なります

#### 内容のご紹介

人間の男の子と母ぎつねとの心あたたまるものがたり！

日ぐれになると、町はずれのでんわボックスに男の子がやって来ます。

病気のおかあさんに電話をかけに来るのです。それをじっと見守る子どもをなくした母ぎつね。ところがある日、でんわボックスがなくなるかもしれないと聞いた母ぎつねは…。

40万部突破の感動のロングセラーが装いもあらたにオールカラー絵本と児童図書で登場！

(矢祭もったいない図書館)